

長岡地域にある土木遺産を紹介します！

日本一の手掘り隧道

なかやませいどう
中山隧道

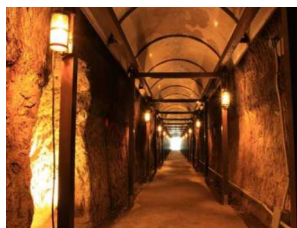
平成18年度
選奨土木遺産認定



長岡市山古志東竹沢にある小松倉集落と魚沼市広神地区を結ぶ人道用のトンネルで、小松倉の人々が自らの生命と生活を守るため、ミヤツルハシを使い、昭和8年から16年という歳月を費やし完成した、人が通れる手掘りの隧道としては日本一の長さを誇ります



貫通当時の雰囲気は今なお伝える坑内



長岡側の坑口付近は見学できます

概要	1933(昭和8)～1949(昭和24)年(貫通) 延長 922m(貫通時) / 幅 約1.2m / 高さ 約1.8m 見学できる場所：長岡市側坑口～坑内約70m間
----	--

長岡市 山古志東竹沢(小松倉集落)

長岡のシンボリック存在

ちょうせいばし
長生橋

平成25年度
選奨土木遺産認定



長生橋は、毎年8月に行われる大花火大会の「ナイアガラ花火」が架かる橋として有名で、長岡市のシンボリック存在となっています。信濃川で分断される長岡市の東西をつなぐ交通の要所として、今も人々の暮らしを支え続けています。



第4回長生橋フォトコンテスト最優秀賞「架橋後光放つ」長谷川 繁氏 作品
長生橋を愛する会 提供

概要	完成：1937(昭和12)年10月12日 延長：850.8m / 幅員：7.0m 橋梁形式：下路式ゲルバー鋼ワーレントラス橋
----	--

長岡市 大島本町(左岸)～山田(右岸)

橋のリサイクル

きゅうらむらてつきょう
旧浦村鉄橋

令和元年度
選奨土木遺産認定



北越鉄道(現信越本線)の旧浦村鉄橋から分かれた3つの道路橋のうち、岩田橋、不動沢橋の2橋は、当時の形のまま越路地域の渋海川に移設され、120年以上たった今でも現役で活躍しています。

また、新橋の架設により役目を終えた旧越路橋は、地域住民の熱意により、その一部を改造して越路河川公園内に移設・保存されています。



岩田橋
長岡市岩田



不動沢橋
長岡市不動沢



旧越路橋(保存橋)
長岡市浦

長岡市 岩田・不動沢・浦

現存するコンクリートトンネルでは
日本最古!?

えんじょうじせいどう
円上寺隧道

令和3年度
選奨土木遺産認定



大河津分水の南側に、かつて円上寺淵という大きな沼がありましたが水害常襲の低湿地帯であり、そこを流れる島崎川が唯一の排水河川でしたが、大河津分水路により分断されたため、この地域一帯の水を直接日本海へ排水する円上寺隧道が1915(大正4)年に完成しました。



円上寺隧道が建設された当時は、トンネルの覆工材料としてはレンガや石材が主流でした。日本に現存するコンクリート製トンネルでは最古と言われています。

概要	1915(大正4)年完成 断面形状：円形(直径3.6m) / 延長：1,203m 構造：コンクリートブロック積、コンクリート覆工、それらの複合
----	---

長岡市 寺泊円上寺(呑口)～長岡市寺泊磯町(吐口)

土木遺産とは

歴史・文化的に価値の高い土木構造物の顕彰を通じて広くPRし、貴重な土木遺産を保存し続けることを目的に公益社団法人土木学会が平成12年に設立した認定制度です。認定により、土木遺産の文化的価値への理解を促すとともに、土木技術者としての責任感、文化財創出意欲促進、まちづくり資源としての活用、失われるおそれのある土木遺産の救済などが期待されています。